

学年別クラス写真について追記

土屋 洸子

(公主嶺小学校同窓会)

本稿では公主嶺小学校及び、公主嶺小学校同窓会の変遷を整理し、寄贈させていただいた学年別クラス写真について紹介する。

(1) 公主嶺小学校の変遷

会報『公主嶺』第 32 号 1990 年 4 月 20 日発行 p4「公主嶺小学校の変遷」と題して、土屋洸子が学校名の変遷を報告した。

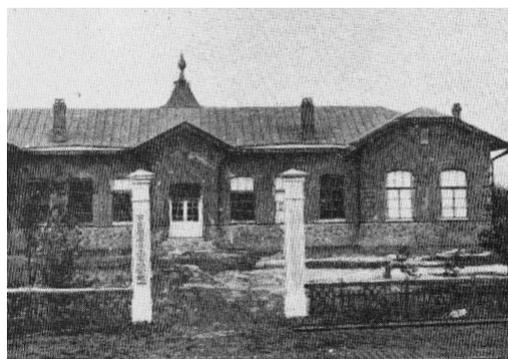


写真 1 1935 年までの公主嶺小学校校舎（公主嶺小学校同窓会編『満洲公主嶺—その過去と現在—』1988 年、22 頁）

学校名	期間	経営	生徒
公主嶺尋常高等小学校	1907 年 11 月 18 日	南満洲鉄道株式会社	1～29 回生
公主嶺日本小学校	1937 年 12 月 1 日	満洲国吉林省日本学校組合	30～33 回生
公主嶺在満国民学校	1941 年 4 月 1 日	吉林省日本学校組合	34～37 回生
公主嶺日本人学校	1945 年 11 月 12 日 ～1946 年 7 月 1 日	公主嶺日本人会	38 回生卒業 44 回生入学
日籍技術員工子弟公主嶺国民学校	1946 年 9 月 ～1947 年 8 月 20 日		39 回生数名卒業 45 回生 3 名入学 小学生 33 名、 中学生 3 名在学

尋常高等小学校は満鉄によって設立されたが、1937年に教育行政が満洲国に移管された際に、日本人子女の学校は日本学校組合の経営となった。1941年の国民学校令により内地及び外地の尋常高等小学校は国民学校に変わり、満洲では在満国民学校となった。戦後、引揚げまでの間、日本人会によって学校が運営され、1946年9月には日籍技術員工子弟公主嶺国民学校と名称が変わった。

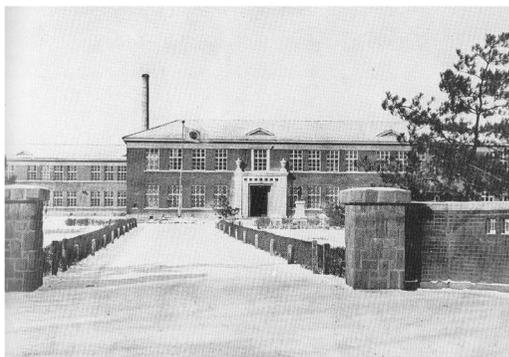


写真2 公主嶺小学校の正門（1937年頃、公主嶺小学校同窓会編『満洲公主嶺—その過去と現在—』1988年、36頁）

（2）公主嶺小学校の同窓会（戦後日本に引き揚げた後の同窓会）と諸事業（*印）

名称	年月日	場所	参加人数
第1回同窓会	1976年5月8日	東京・貿易センタービル	221名
第2回同窓会	1978年5月28日	京都・国際会館	148名
第3回同窓会	1981年7月25日	東京・貿易センタービル	171名
第4回同窓会	1984年9月16日	岡山・郵便貯金会館	142名
第5回同窓会	1986年10月11日	東京・九段会館	183名
◎創立80周年記念誌の作成を決定する * 記念誌『満洲公主嶺—過ぎし40年の記録—』（1987年11月18日付で発行）			
第6回同窓会	1988年10月9日	東京・日比谷	204名
* 写真集『満洲公主嶺—その過去と現在—』（1988年11月18日付で発行） * 33回生会報『公主嶺』を同窓会会報とする（会報『公主嶺』31号1989年8月20日付）			
第7回同窓会	1990年9月16日	東京・浅草	200名

	*学年別クラス写真の作成 (1990年3月3、4日)		
第8回同窓会	1992年9月27日	大阪・太閤閣	199名
第9回同窓会	1994年10月2日	東京・浅草	155名
第10回同窓会	1997年9月28日	東京・浅草	153名
	◎創立90周年記念のビデオの作成を決定する *ビデオ『満洲公主嶺—100年の変貌—』(1998年11月18日付で制作)		
第11回同窓会	2000年10月15日	東京・浅草	181名
第12回同窓会	2005年10月10日	東京・浅草	103名
創立100周年 記念大会	2007年10月28日	東京・上野	94名
	*ビデオ『満洲公主嶺—100年の変貌—』をDVD化する *会報「公主嶺」1～53号を合本する(2009年8月1日付)		

(3) 学年別クラス写真について



写真 3 公主嶺小学校校舎の全景 (1944年頃、公主嶺小学校同窓会編『満洲公主嶺—その過去と現在—』1988年、37頁)

上表に記載したが、公主嶺小学校同窓会は、1986年10月11日の第5回同窓会で、学校創立80周年を記念して『満洲公主嶺—過ぎし40年の記録—』を編集・発行することを決定した。

教職員、同窓生から原稿を集めて546ページの記念誌を、1987年11月18日付

で発行したが、原稿だけでなく、貴重な写真が多数集まったので、記念誌を編集中に『写真集』の発行することを編集委員会で決めた。

A4版、190ページ、戦前をモノクロ写真286枚、現在をカラー写真229枚で構成し、写真集『満洲公主嶺—その過去と現在—』が1988年11月18日付で発行された。

その後、1998年11月18日付でビデオ『満洲公主嶺—100年の変貌—』を発行し、記念誌と写真集を合わせて、3部作とした。

記念誌、写真集を編集しているとき、どちらにも収録できなかった多数の写真が集まったので、写真を学年別に整理して後世に残そうと、編集委員会で決めた。そして、会報『公主嶺』32号(1990年4月20日発行)p2に、伊藤聖さん(33回生)が「学年クラス写真をフィルム化」と

題して、次のように書いている。

写真集『満洲公主嶺』の作成に当たって、多くのクラス写真を皆さんから提供されました。当初は、「学び舎の日々」として収録する予定でしたが、製作コストその他の諸事情で、小学校の写真は代表的なものだけにとどめざるを得ませんでした。

しかし、いずれも皆さんには思い出深い写真であり、植民地教育史として貴重な資料ですので、すべてフィルム化して長く記録に残し、また、焼き増しの便を図ることにしました。フィルム作成は3月3、4日両日、今井律雄(28回生)、土屋洗子(37回生)両氏の全面的協力で、のべ13時間かけて行われました。1枚1枚大きさが違うので、ピントを合わせ直し、汚れをふきとっての422枚の撮影でした。

これまでよく分からなかった公主嶺青年学校の第1回卒業生の写真(昭和12年3月)が見つかるなどの副産物もあり、今後、青年学校の名簿作成も進めたいと思っています。なお、写真は焼き付けたうえ、リストと照合して、各学年ごとのアルバムにし、回覧、複写できるようにします。写真返却はその後になりますので、ご了承ください。

以上のようないきさつを経て、フィル

ム化した422枚の写真は、2Lサイズに統一して焼き付け、タイトルを付けて、アルバム9冊に整理した。

9冊のアルバムは、1990年9月16日の第7回同窓会で展示し、各学年に該当写真リストを配布して、焼き増しを希望する人が注文できるようにした。

その後、1991年に、希望者135名に写真721枚を渡すことができた。戦後引き揚げた同窓生は、引き揚げ時の厳しい荷物制限で、写真、ノート、本などを一切携行できなかった為、焼き増しした写真を手にしたことを、大変感謝してくれた。会報『公主嶺』34号(1991年8月25日発行)には、次のような感想が掲載されている。

「大変な作業だったと思います。特に4011は待望の写真だったので、感激しています。アルバムのブランクが埋まりました」(浅野兼迪・40回生)

「待望のお写真、昨日届きました。原形は変色しぼろぼろになっていたものと思いますのに、見事に復元され、引き伸ばされた立派な写真で、ありがとうございます」(久保田治子・33回生)

「本日は公主嶺の写真を送っていただきまして、ありがとうございました。兄、弟、妹が写っていました

た。すぐに兄や妹が分かりました。きっと皆喜ぶことと思います」(木村晃子・40 回生)

「写真、確かにいただきました。修学旅行などの写真を見ていると、いろいろなことが思い出されま

す」(幸島知代子・36 回生)

「写真、拝受しました。いずれもただ懐かしく、懐旧の思いにふけています。幼稚園講堂、楠公像前、正面入口、射撃場など、いろいろ思い出があります。担任していただいた先生方も皆お若くて、まさに往時茫々ですね(岩垂司・37 回生)

「お願いしていた公主嶺小学校関係の写真をお送りいただき、ありがとうございました。思い出の先生方のことやクラスの人たちのことを、改めて懐かしく思い出しました」(古谷卓直・旧職員)

学年別クラス写真は、各回生の幼稚園入園から卒園までと、小学校入学から卒業まで、クラス別に毎年1、2枚ずつ撮影された。一学年は2クラスで、1・2年生では男女混合の、3年生以上は男女別組の編成だった。「男女七歳にして席を同じくせず」のクラス編成である。写真の撮影場所は、公主嶺神社、幼稚園の講堂、教室、

玄関、新・旧小学校の玄関、講堂、運動場、楠木正成銅像前、教室ロシア墓地および修学旅行先などであった。

なお、1945年11月から1946年7月まで開校した日本人学校では、終戦後の大変な混乱期であったから、学年別の写真は無いが、写真集『満洲公主嶺—その過去と現在—』のp39に、No76「昭和21年度の職員」として、昭和21年6月17日撮影の教職員15名が写っている。当時の公主嶺には写真館が5軒はあった(高柳、さくら、森脇、坂田、伊東)から、戦後でも撮影できたのか、不思議な思いが脳裏をよぎる。



写真4 昭和21年度の職員(公主嶺小学校同窓会編『満洲公主嶺—その過去と現在—』1988年、39頁)

以上、公主嶺小学校同窓会が収集した公主嶺小学校の学年別クラス写真のアルバム9冊は、2018年8月に「満洲の記憶」研究会に寄贈した。

これらの写真が、旧満洲の研究に寄与されることを、切に願っている。